

《2011 年度発行 聖歌隊用楽譜紹介》

日本バプテスト連盟
宣教部 教会音楽室

11-1 空の鳥を見よと 新生讃美歌 140 番

新生讃美歌 140 番で親しまれている加藤喜美子（川越教会）さんの詞に、西川口教会会員の山寄美奈（やまざきみな）さんが作曲編曲されたものです。ピアノが専門の山寄さんですが、在籍する東京バプテスト神学校の作曲の授業で、この詞の作曲編曲に取り組みました。

変ニ長調（フラット5つ）で、パートの音とり、又伴奏者も練習を要するものですが、この調子のもつ優しさが後押しし、み言葉（マタイ6：26－28）が心の内に響きます。また、最後の「救いの喜び 歌いて進まん」では、重厚なハーモニーをもって力強く歌いあげていきます。3.11の東日本大震災後、日本バプテスト連盟定期総会をはじめ、各集会で歌われています。賛美歌を通しての証し（ニュースレター33号参照）もどうぞご参考ください。

11-2 救い主 王は 新生讃美歌 484 番

新生讃美歌の中で、愛唱されている賛美歌です。主が愛してくださっていることをおぼえ、歌う度に力をいただき、喜びをもって応答することができます。また2節、3節も、この時代にあって、私たちをよみがえらせる主がおられることを分かち合いつつ、互いに声をあわせることができます。

東京第一教会会員の十時節子（とときせつこ）さんが編曲されたものです。十時さんの専門はジャズピアノで、この編曲の中にもジャズの要素がたくさん散りばめられていて、ハーモニーも素敵です。歌詞に相応しい伴奏が付されています。

11-3 恵みの主は 新生讃美歌 514 番

ヨハネ5章15節「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。…わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。」からインスピレーションを受けて、作詞されています。英語のタイトルは”I Need Thee Every Hour”（私はいかなる時も主を必要としています）です。「わたし」の信仰告白ですが、聖歌隊で共に歌うときに、共同体の証しとなっていくでしょう。

曲は新たにシェリー・ワードにより作曲編曲されたもので、ピアノの伴奏が時を刻むようにして流れる中、シンプルでかつ美しい旋律によって、詞が歌い上げられていきます。和声の動きはさほど難しくありませんが、美しいハーモニーを作りあげるには練習が要されます。お互いに聞き合う練習を丁寧にしてみてもいいでしょうか？3ページ2段目はアカペラですが、難しい場合は和声の伴奏付で歌うこともできます。